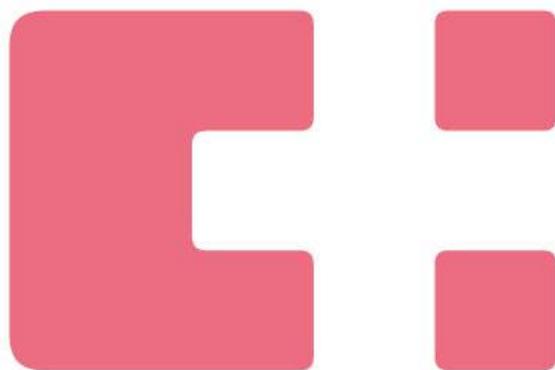


# 2019年3月期 決算説明会



**ココカラファイン**

ココロ、カラダ、ゲンキ。

2019年5月22日  
証券コード:3098

**2019年3月期 決算概要****3**

業績ハイライト

修正計画対比 (P/L)

前年同期対比 (P/L)

既存店売上高伸長率推移

商品分類別売上構成

売上総利益推移

販売管理費推移

薬価・診療報酬改定の影響と対応の進捗状況

連結貸借対照表

連結キャッシュフロー計算書

**2020年3月期 重点施策****16**

- ITを活用した顧客戦略
- ITを活用した生産性の向上
- 地域密着型の店舗づくりを支える組織体制

**2020年3月期 見通し****24**

出退店実績・計画

設備投資実績・計画

連結業績の見通し

**中期経営計画について****29****今後の方針****32**

## appendix

**38**

環境への取り組み

ホワイト500

スポーツクラブのFC事業開始

# 2019年3月期 決算概要

- ① ドラッグストア物販→災害・天候不順による売上減
- ② 調剤事業→薬価・診療報酬改定の影響は想定通り
- ③ 調剤店舗を中心とした出店強化による規模拡大推進

## 売上高

### ◇ドラッグストア事業

上期は震災や豪雨などの自然災害、下期は暖冬による季節品不調や免税売上の伸び鈍化で既存店は売上減

- ・既存店売上伸長率：上期 -1.5%、下期 -1.6%、通期 -1.6%

### ◇32店舗純増（出店70・閉店38）となり、期末店舗数は1,354店舗

- ・調剤取扱店舗は292店舗（21店舗純増）となり、薬価改定影響下でも調剤売上は587億円（前期比107.3%）

## 売上総利益

### ◇ドラッグストア事業

売上総利益率は、前期比0.5ポイントの大幅改善  
（前年実績27.6%→今期実績28.1%）

- ・①高付加価値商品の販売強化、②品揃え・売価・販促の標準化、③在庫ロス改善

### ◇調剤事業

薬価・診療報酬改定の影響は想定通り、売上総利益額は店舗数増加の効果もあり増益確保  
（前年実績220億円→今期実績227億円／前期比103.3%）

- ・地域支援体制加算、後発医薬品調剤体制加算の対応を推進

## 販売管理費

◇ 全社販管費率は売上伸び鈍化により悪化（前期23.3%→今期23.8%）

しかし既存店金額ベースでは前期並みに抑制（ココカラファインヘルスケア）

（既存店前期実績 718億円→今期実績 718億円／前期比99.9%）

・ 店舗インフラ標準化による店舗作業の効率化、改装投資の一巡化

## 結果

・ 売上高	400,559百万円	（前期比102.5%/ +9,596百万円、修正計画比100.1%）
・ 売上総利益	108,311百万円	（前期比103.5%/ +3,659百万円、修正計画比100.0%）
・ 販売管理費	95,396百万円	（前期比104.9%/ +4,457百万円、修正計画比99.2%）
・ 営業利益	12,915百万円	（前期比94.2%/ -796百万円、修正計画比106.7%）
・ 経常利益	15,233百万円	（前期比95.1%/ -786百万円、修正計画比105.1%）
・ 親会社株主に帰属する 当期純利益	9,158百万円	（前期比101.0%/ +92百万円、修正計画比113.1%）

# 修正計画対比 (P/L)

(単位：百万円)

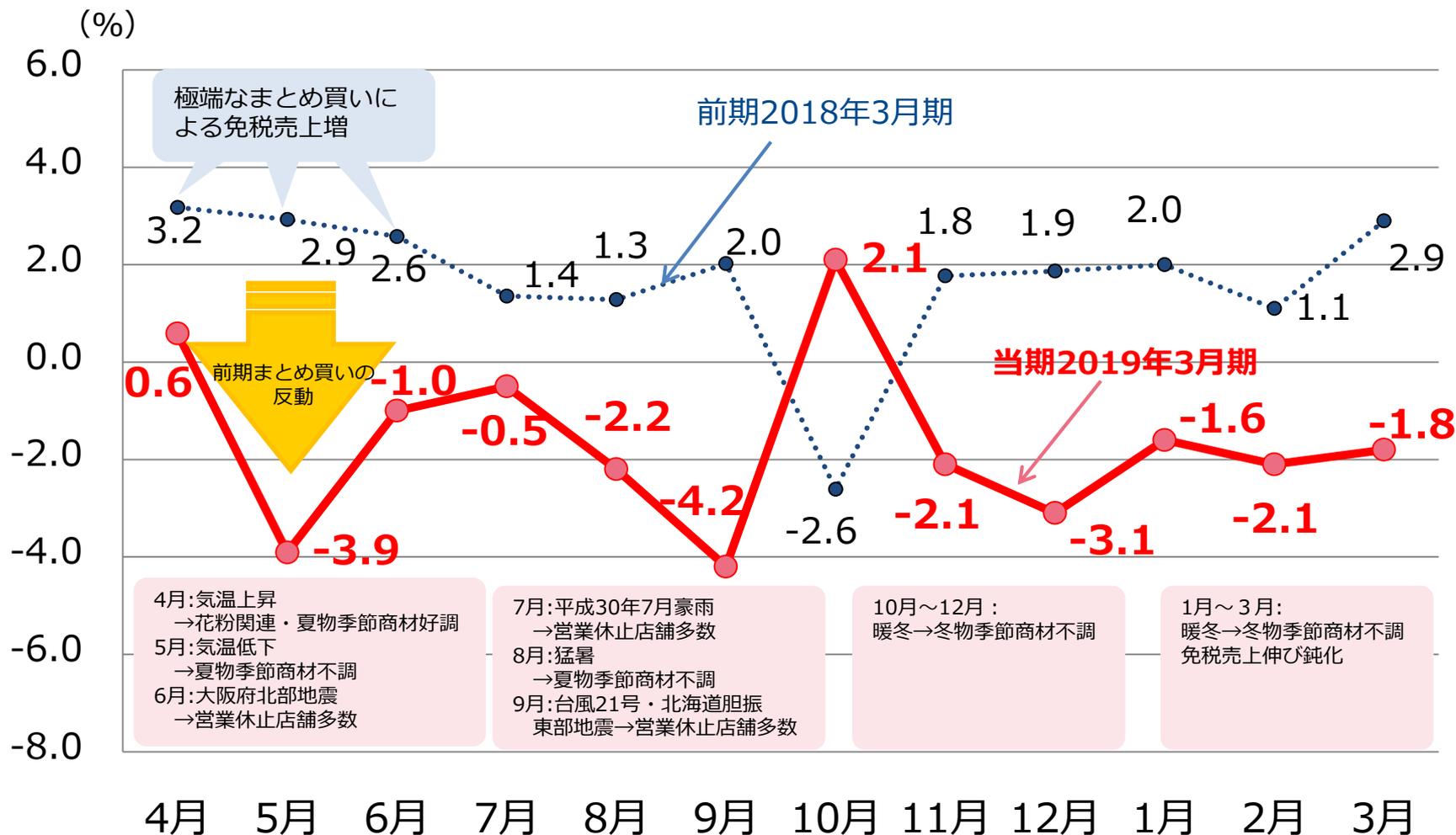
	2019年3月期 修正計画	2019年3月期 実績	計画差異	計画比 (%)	修正計画比増減要因
売上高	400,000 (100.0%)	400,559 (100.0%)	+559	100.1	◇ ドラッグストア・調剤既存店増収率変動 (計画 -1.5% → 実績 -1.7%) ・暖冬による季節商材の不調 ◇ 出店：修正計画70店舗 → 実績70店舗 退店：修正計画35店舗 → 実績38店舗 ◇ 取引先数増加等により卸売増
ドラッグストア	299,426	299,435	+9	100.0	
調剤	58,796	58,710	-86	99.9	
卸売・介護	41,778	42,412	+634	101.5	
売上総利益	108,300 (27.1%)	108,311 (27.0%)	+11	100.0	◇ 卸売増による売上構成の変動による利益率低下
販売管理費	96,200 (24.1%)	95,396 (23.8%)	-804	99.2	◇ 店舗インフラ標準化による店舗作業の効率化、 改装投資の一巡化による販管費減
営業利益	12,100 (3.0%)	12,915 (3.2%)	+815	106.7	
経常利益	14,500 (3.6%)	15,233 (3.8%)	+733	105.1	
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,100 (2.0%)	9,158 (2.3%)	+1,059	113.1	

# 前年同期対比 (P/L)

(単位：百万円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	増減	前期比 (%)	前期比増減要因
売上高	390,963 (100.0%)	400,559 (100.0%)	+9,596	102.5	◇ ドラッグストア・調剤既存店増収率変動 (前期 +1.7% → 当期 -1.7%) ・ 前期におけるまとめ買い売上増の反動 ・ 災害・天候不順等による客数減 ・ 暖冬による季節商材の不調 ・ 免税売上伸び鈍化 ◇ 出店：70店舗、退店：38店舗 ◇ 取引先数増加等により卸売増 ◇ (株)愛安住の子会社化による介護売上増
ドラッグストア	295,892	299,435	+3,543	101.2	
調剤	54,738	58,710	+3,972	107.3	
卸売・介護	40,332	42,412	+2,080	105.2	
売上総利益	104,652 (26.8%)	108,311 (27.0%)	+3,659	103.5	◇ ドラッグストア物販における 売上総利益率0.5ポイントの改善 ・ 前期 27.6% → 当期 28.1%
販売管理費	90,939 (23.3%)	95,396 (23.8%)	+4,457	104.9	◇ M & A、スクラップ&ビルドによる店舗規模拡大
営業利益	13,712 (3.5%)	12,915 (3.2%)	-796	94.2	
経常利益	16,019 (4.1%)	15,233 (3.8%)	-786	95.1	
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,067 (2.3%)	9,158 (2.3%)	+92	101.0	

# 既存店売上高伸長率推移



**既存店 (累計) 売上高 : 1.7%減 客数 : 1.6%減 客単価 : 0.0%増**

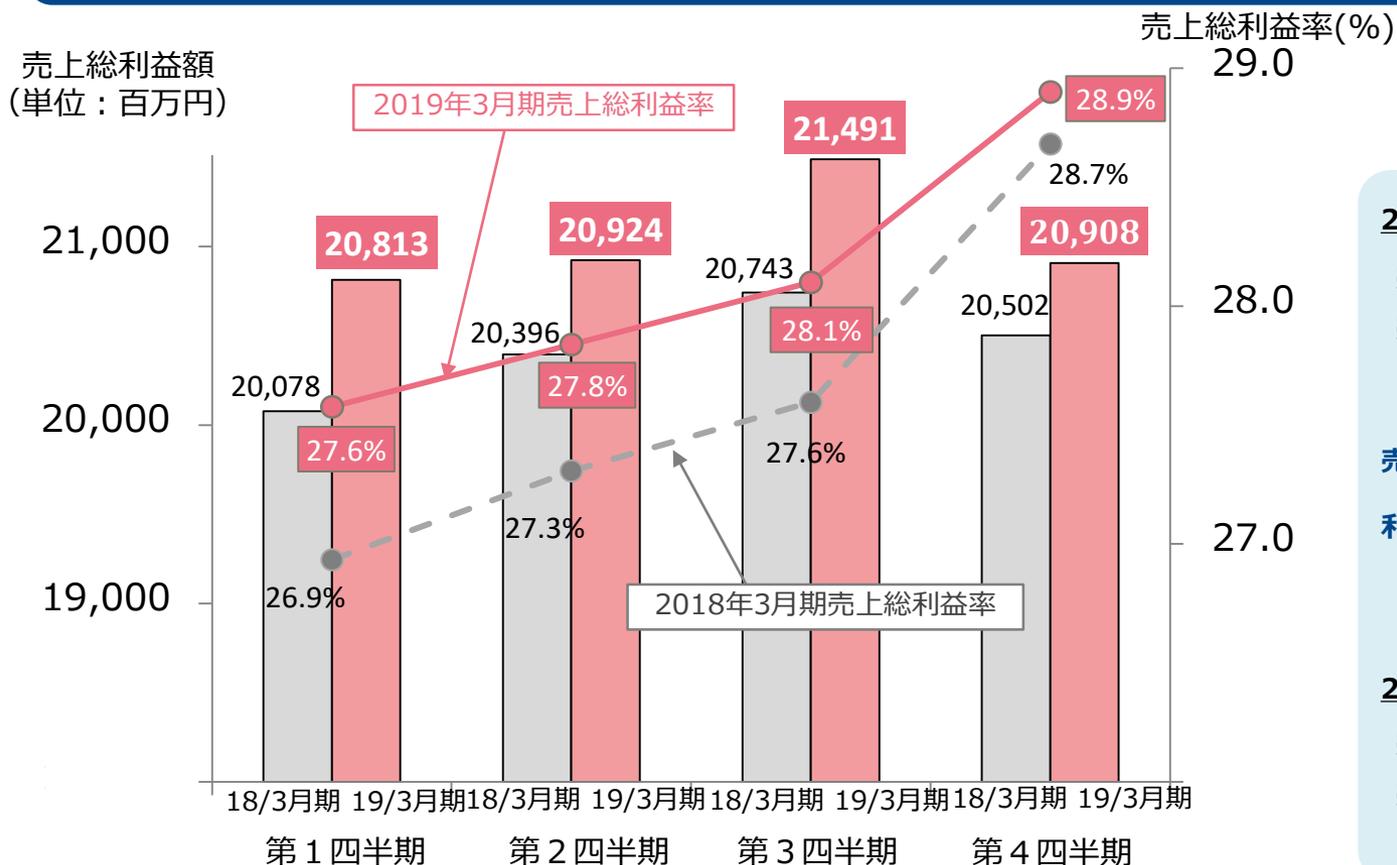
※ 客数・客単価 : 調剤を除く、小売のみの実績

	2018年3月期 実績			2019年3月期 実績		
	売上高 (百万円)	構成比	前期比	売上高 (百万円)	構成比	前期比
医薬品	108,487	30.9	104.9	<b>111,522</b>	<b>31.1</b>	<b>102.8</b>
うち 調剤	54,738	15.6	111.7	<b>58,710</b>	<b>16.4</b>	<b>107.3</b>
化粧品	104,510	29.8	104.1	<b>108,036</b>	<b>30.2</b>	<b>103.4</b>
健康食品	10,516	3.0	100.4	<b>10,906</b>	<b>3.1</b>	<b>103.7</b>
衛生品	40,965	11.7	99.9	<b>40,269</b>	<b>11.2</b>	<b>98.3</b>
日用生活商品	47,782	13.6	101.5	<b>47,796</b>	<b>13.3</b>	<b>100.0</b>
食品	38,370	11.0	104.3	<b>39,615</b>	<b>11.1</b>	<b>103.2</b>
<b>全店計</b>	<b>350,633</b>	<b>100.0</b>	<b>103.4</b>	<b>358,147</b>	<b>100.0</b>	<b>102.1</b>
卸売	37,849	-	106.1	<b>39,256</b>	-	<b>103.7</b>
<b>小計</b>	<b>388,482</b>	-	<b>103.7</b>	<b>397,403</b>	-	<b>102.3</b>
介護事業	2,484	-	103.1	<b>3,166</b>	-	<b>127.4</b>
※セグメント間取引消去	-2	-	-	<b>-10</b>	-	-
<b>全社計</b>	<b>390,963</b>	-	<b>103.6</b>	<b>400,559</b>	-	<b>102.5</b>

- 調剤 : 薬価・診療報酬改定の影響による押し下げを、出店・M&A等による店舗増でカバー
- 化粧品 : カウンセリング販売の強化と付加価値商品の取り組みによる売上増
- 食品 : 飲料や菓子などの定番比率の高い商品が好調
- 卸売 : 取引先数増加等
- 介護事業 : (株)愛安住の子会社化による売上増

## ドラッグストア事業【全店】

売上総利益率は前期27.6%→当期実績28.1%となり、利益率は前期比0.5%改善  
 →売上総利益は金額ベースで+3.0%伸長（売上高は+1.2%伸長）



**2018年3月期実績**

売上 **295,892**百万円  
 売上総利益額 **81,720**百万円  
 (売上総利益率 27.6%)

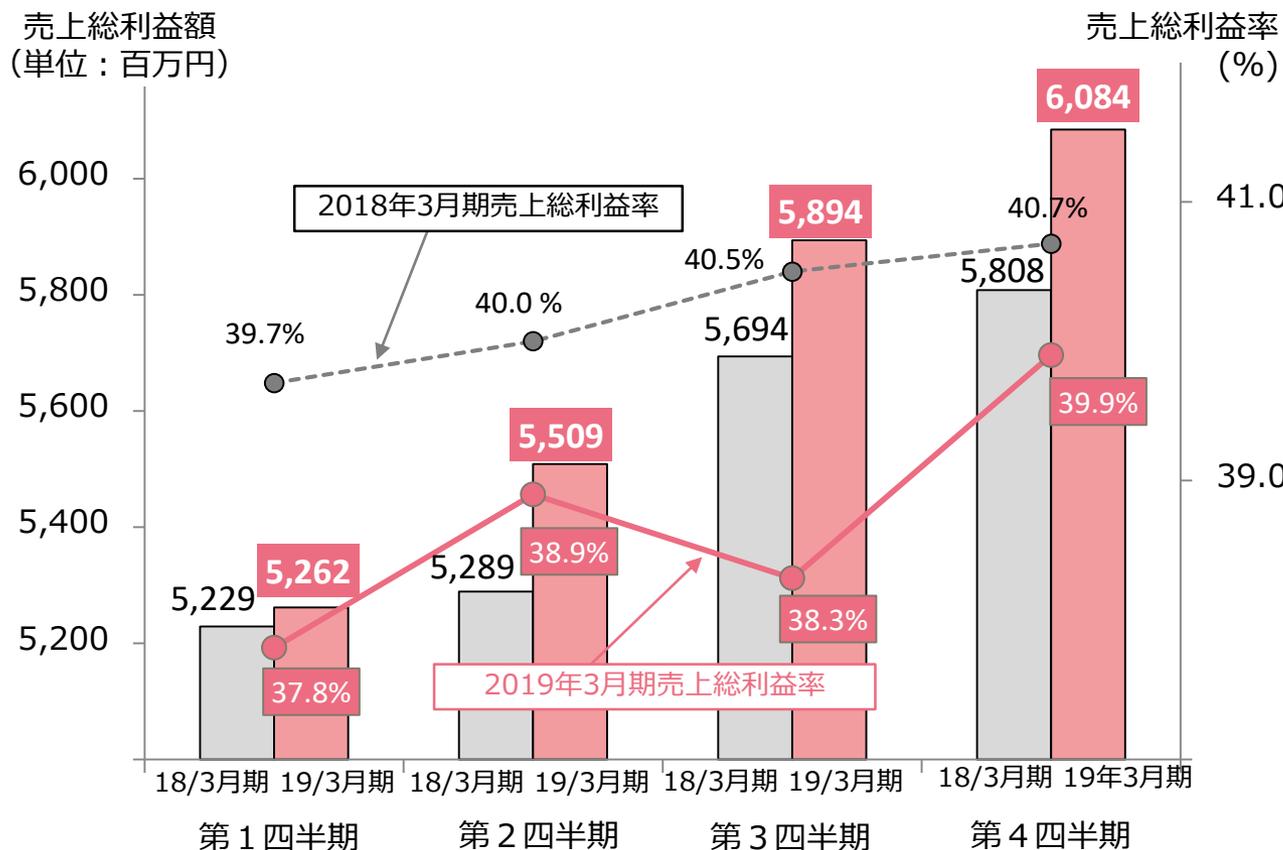
売上 **+3,544**百万円(1.2%増)  
 利益 **+2,416**百万円(3.0%増)  
 (利益率 +0.5%上昇)

**2019年3月期実績**

売上 **299,436**百万円  
 売上総利益額 **84,136**百万円  
 (売上総利益率 28.1%)

## 調剤事業【全店】

- ・ M & A による規模拡大や薬価・診療報酬改定の影響で、利益率の変動幅大
- ・ 薬価・診療報酬改定の中、金額ベースでは計画通り前期実績を確保



**2018年3月期実績**

売上 **54,738**百万円  
 売上総利益額 **22,022**百万円  
 (売上総利益率 40.2%)

売上 +3,972百万円(7.3%増)  
 利益 +726百万円(3.3%増)  
 (利益率 ▲1.5%低下)

**2019年3月期実績**

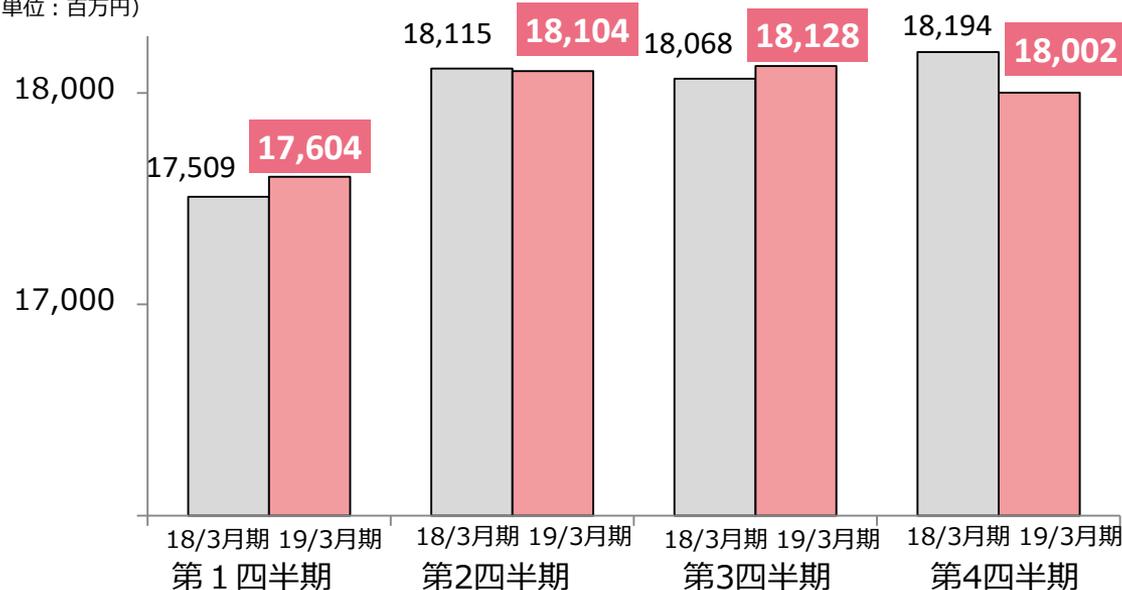
売上 **58,710**百万円  
 売上総利益額 **22,748**百万円  
 (売上総利益率 38.7%)

## 既存店（ドラッグストア・調剤）ココカラファインヘルスケア

- ・ 災害・天候不順等による売上減の影響を受け、販管費率は上昇
- ・ 既存店における販管費は、金額ベースで前期並みにコントロール

### 既存店の販売管理費の推移

(単位：百万円)



販売管理費比率	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2018年3月期	21.6%	22.3%	21.9%	22.8%
2019年3月期	22.0%	22.8%	22.2%	23.0%

#### 【既存店実績】

##### 2018年3月期実績

販売管理費 71,887百万円  
売上比 22.2%

販売管理費 -50百万円

売上比 0.3%減

前期比 99.9%

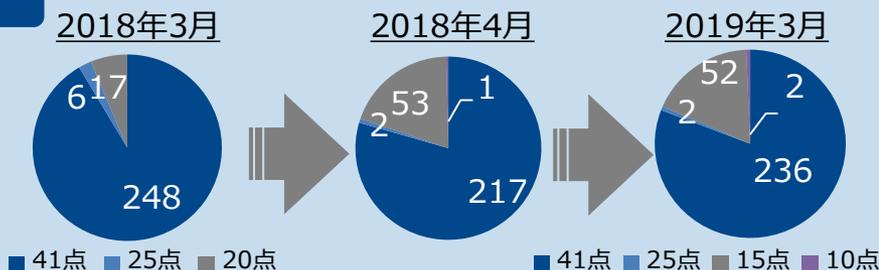
##### 2019年3月期実績

販売管理費 71,837百万円  
売上比 22.5%

(グラフ内の数値は該当店舗数)

## 影響1 調剤基本料

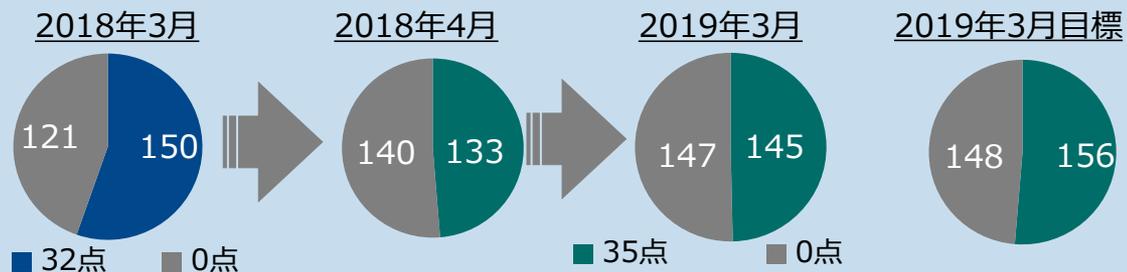
要件変更により  
一部店舗での加算点数減少



広域処方せん  
の獲得  
(集中率の低下)

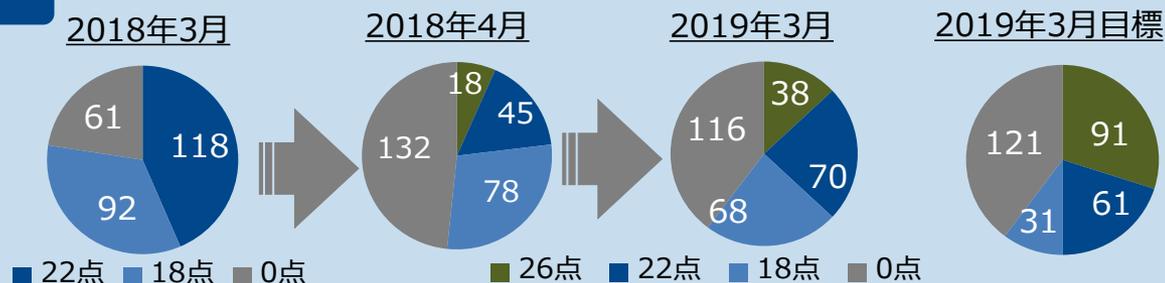
## 影響2 基準調剤加算→地域支援体制加算

従来の基準調剤加算が廃止され、  
地域支援体制加算が新設  
要件変更による算定店舗数の減少



## 影響3 後発医薬品調剤体制加算

算定要件変更による  
算定可能店舗数の減少



## 影響4 薬剤服用歴管理指導料

調剤手数料の増加

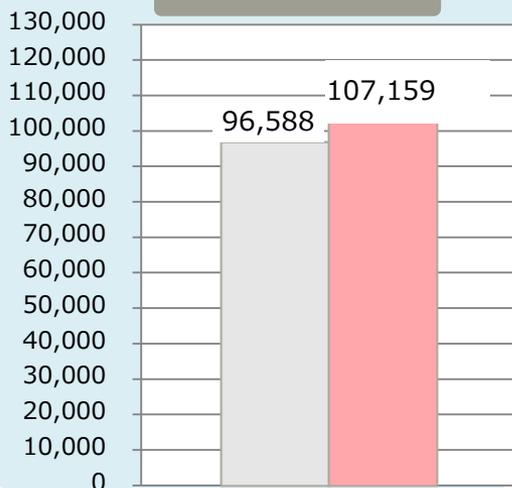
## 影響5 薬価改定

薬価差益額の減少

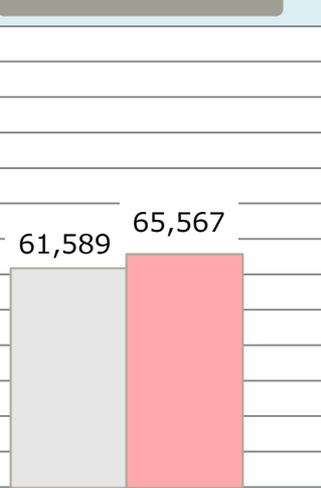
■ 2018年3月末 ■ 2019年3月末

(百万円)

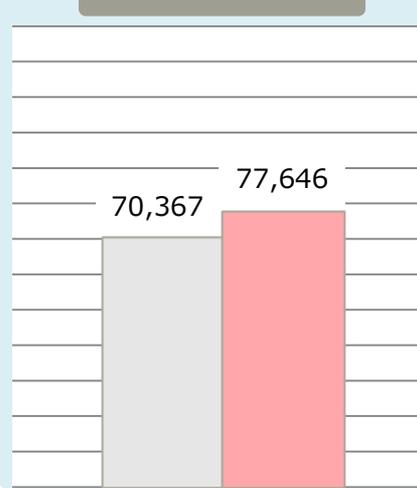
## 流動資産



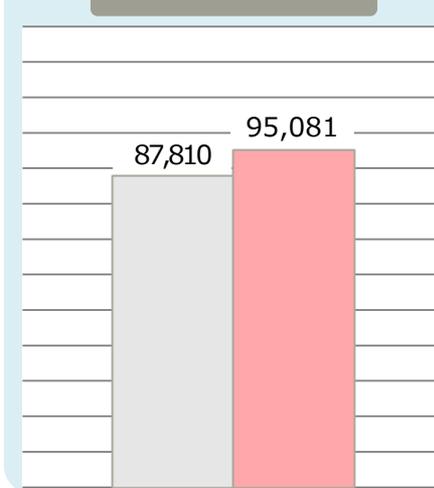
## 固定資産



## 負債



## 純資産



※2018年3月末実績は会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値です。

## 2018年3月期末との比較

(単位：百万円)

項目	2019年3月末	2018年3月末	増減
<b>流動資産</b>	<b>107,159</b>	<b>96,588</b>	<b>+10,571</b>
現金及び預金	1,628	3,196	-1,628
たな卸資産	1,130	0	+1,130
未収入金	9,768	0	+9,768
<b>固定資産</b>	<b>65,567</b>	<b>61,589</b>	<b>+3,978</b>
有形固定資産	1,214	0	+1,214
無形固定資産	558	0	+558
投資その他の資産	2,205	0	+2,205
<b>負債</b>	<b>77,646</b>	<b>70,367</b>	<b>+7,278</b>
買掛金	8,103	0	+8,103
未払法人税等	2,152	0	-2,152
その他流動負債	701	0	+701
<b>純資産</b>	<b>95,081</b>	<b>87,810</b>	<b>+7,270</b>
利益剰余金	7,331	0	+7,331

■ 2018年3月期      ■ 2019年3月期



## 2019年3月期の主な状況

(単位：百万円)

### 営業キャッシュフロー

税金等調整前当期純利益	13,795
減価償却費及びその他の償却費	3,716
たな卸資産の増減額 (-は増加)	-1,129
未収入金の増減額 (-は増加)	-8,822
仕入債務の増減額	8,075
法人税等の支払額 (-は増加)	-7,285

### 投資キャッシュフロー

有形固定資産の取得による支出	-4,993
無形固定資産の取得による支出	-1,079
敷金差し入れによる支出	-1,514
差入保証金の差入による支出	-663

### 財務キャッシュフロー

配当金の支払額	-1,822
---------	--------

### 現金及び現金同等物の増減額

現金及び現金同等物の増減額 (-は減少)	-1,662
----------------------	--------

## 2020年3月期 重点施策

- ITを活用した顧客戦略
- ITを活用した生産性の向上
- 地域密着型の店舗づくりを支える組織体制

## プリペイド利用販促

『プリペイド化に向け全方位への声かけ』から『データに基づいた効率的なアプローチ』に変更し、プリペイド残高は飛躍的に向上

## ココカラクラブカード



### 稼働会員数

2018年3月末 700万人 ▶ 2019年3月末 726万人

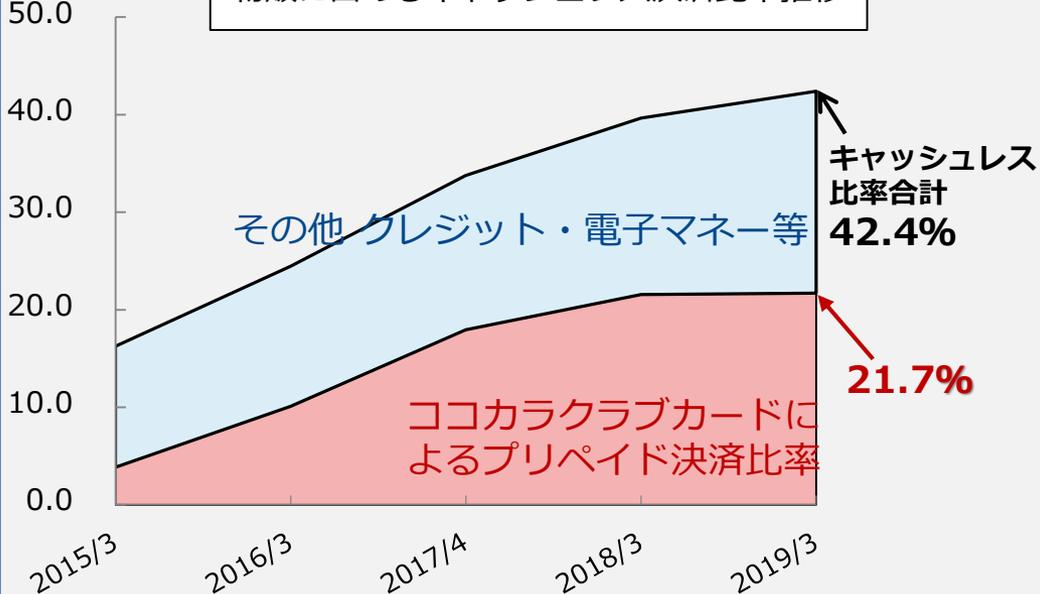
### 会員売上比率

2018年3月期 75.3% ▶ 2019年3月期 74.3%

高水準を維持

(単位：%)

物販に占めるキャッシュレス決済比率推移



チャージ残高 (百万円)

プリペイド残高推移



## 1to1マーケティングの確立へ

## 2つのアプリは確実に顧客数増大

ドラッグストア ココカラ公式アプリ

累計ダウンロード数



マイ店舗登録数



- 店舗独自のお買得情報が見れる

クーポン チラシ お知らせ

- 店舗の商品在庫が見れる

2018年5月  
連携

調剤薬局 お薬手帳アプリ

累計ダウンロード数



- 処方せん事前送信件数  
医療機関で処方せんを受け取った段階で調剤の予約ができる



全処方せんの3.3%

顧客の固定化

## これまでの取り組みと今後の取り組み

店舗作業の効率化

2016年3月

作業用アンドロイド端末の全店導入

Aoi (発注・在庫管理用アプリ)

1店舗1日20分、全店で年間約15万時間の削減、欠品率10%改善



全店に無線LAN環境整備

2017年3月

商品ロス対策機能

個店ごとのロス対策商品分析

2018年3月

欠品対策機能

品切れ商品の分析・アラート

顧客情報処理簡素化

会員申込書を即時デジタル処理

2019年3月

POSレジの全店入れ替えと同時に  
タブレット型POSレジの全店導入

POS(決済)

～2019年3月  
15店舗でテスト導入

～2019年9月  
全店導入



⇒次項参照

2020年3月

AIチャットボット

店舗スタッフの疑問を解消する  
AIチャットボットシステムの導入

調剤システムの統一  
(レセコン・電子薬歴)

オペレーションの統一

接客用アプリ

電子顧客台帳

基幹システムの刷新

経営の見える化、迅速な分析

## 店舗スタッフの疑問

- ・ 問い合わせ先がわからない
- ・ 各種手続きなどがわからない
- ・ マニュアルの確認が必要

本部へ電話問い合わせ

本部へメール問い合わせ

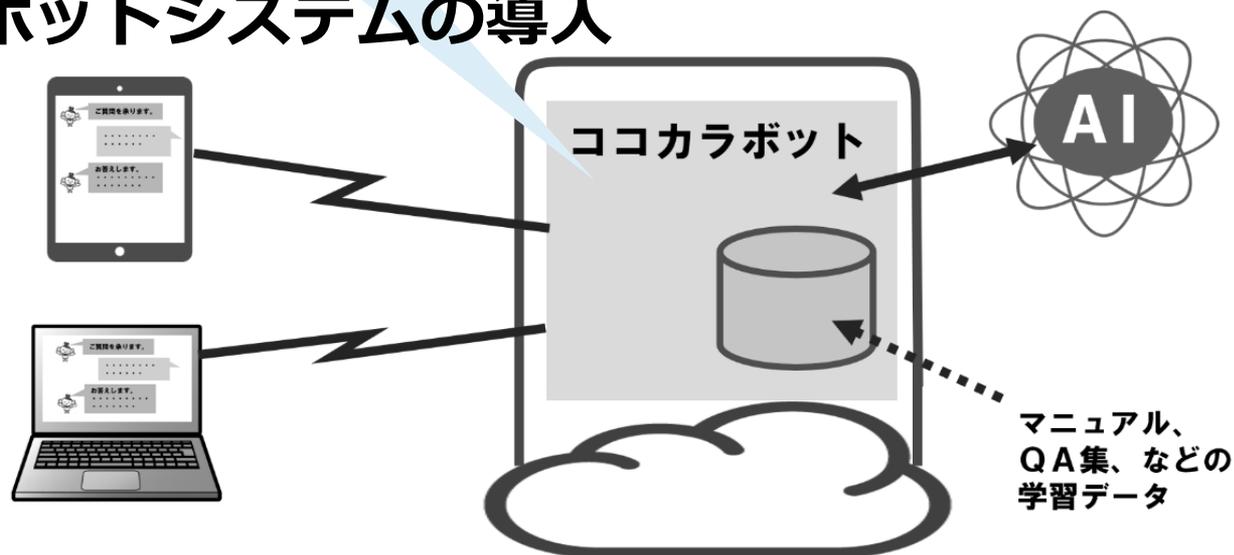
自分で調べる

問い合わせ数  
年換算

約**10**万件

2019年4月～

## 店舗スタッフの疑問を解消する AIチャットボットシステムの導入





～2019年9月

## POSレジの全店入れ替え タブレット端末の全店導入



- ・移動可能なレジ
- ・直感的に使えるレジ（OJT時間の短縮）



共通ポイントなどの新規販促の導入が容易に  
新サービスの導入

多様なQRコード決済の導入が容易に  
利便性向上

カウンセリングツールとして活用  
付加価値向上

2019年3月～2020年3月

## システム（レセコン・電子薬歴）の統一

仕様統一によるオペレーションの一本化

効率化

データ管理・分析の迅速化、見える化推進

効率化



## 新機能の調剤機器導入による作業の効率化



一包化の監査



散薬・一包化



全自動散薬調剤機

作業負担の軽減

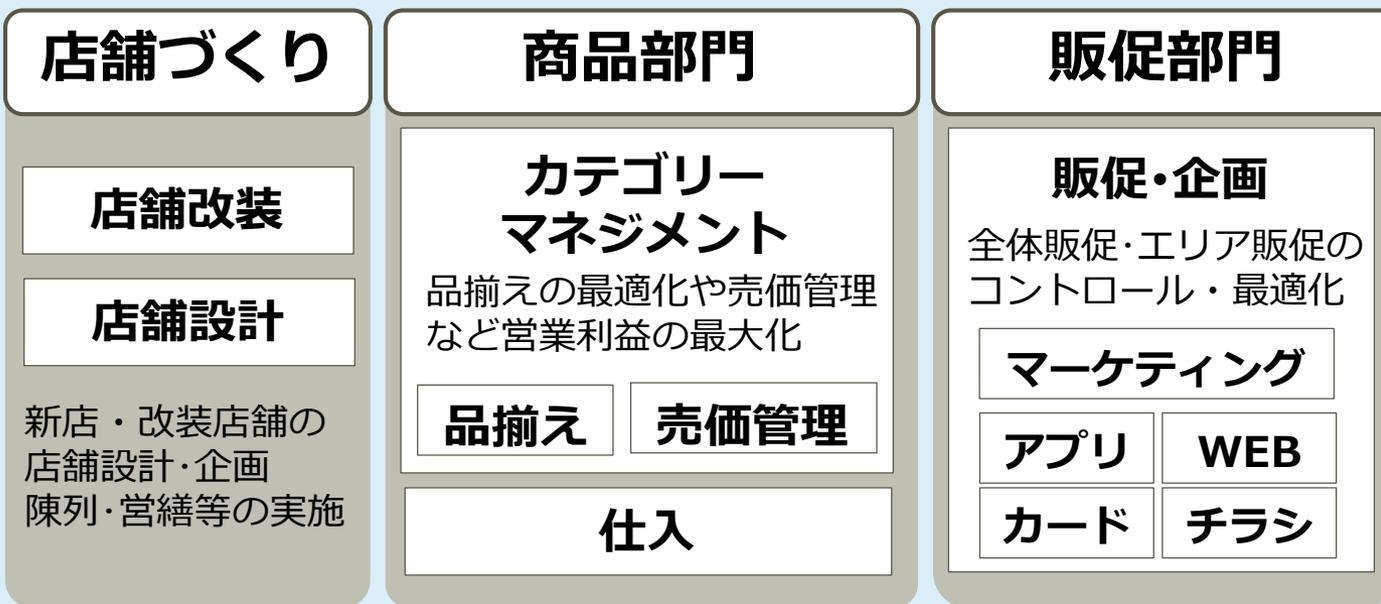
効率化

監査システム導入による精度向上

高度化

## 「商品・店舗企画部」の新設

一気通貫型の全体最適化を図る組織体制  
お客様視点での店舗づくりを実現



お客様の求める  
価値を実現

従業員への  
シンプルな指示

徹底度UP

接遇改善

# 2020年3月期見通し

		2018年3月期 実績		2019年3月期 実績		2020年3月期 通期計画	
			内調剤 取扱店		内調剤 取扱店		内調剤 取扱店
出店※	ドラッグストア	+38	+6	+52	+8	+27	+6
	調剤専門店	+20	+20	+18	+18	+6	+6
		+58	+26	+70	+26	+33	+12
退店	ドラッグストア	- 38	- 2	- 35	- 2	- 50	-
	調剤専門店	- 2	- 2	- 3	- 3	-	-
		- 40	- 4	- 38	- 5	- 50	-
業態変更	ドラッグストア	- 1	- 1	- 1	- 1	-	-
	調剤専門店	+1	+1	+1	+1	-	-
		-	-	-	-	-	-
期末店舗	ドラッグストア	1,156	105	1,172	110	1,149	116
	調剤専門店	166	166	182	182	188	188
		1,322	271	1,354	292	1,337	304
改装店舗数 (看板変更・小改装含む)			103		80		101
(内500万円以上)			53		40		64

※M&A等含む

(単位：百万円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	2020年3月期 計画
設備投資	<b>8,731</b>	<b>9,793</b>	<b>10,800</b>
合計	<b>13,043</b>	<b>13,123</b>	<b>13,754</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>9,067</b>	<b>9,158</b>	<b>9,400</b>
減価償却費及び その他の償却費	<b>3,680</b>	<b>3,716</b>	<b>4,203</b>
のれん償却	<b>296</b>	<b>249</b>	<b>151</b>

	上期					通期				
	2019年3月期 実績		2020年3月期 計画			2019年3月期 実績		2020年3月期 計画		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	200,576	100.0	208,000	100.0	103.7	400,559	100.0	409,000	100.0	102.1
ドラッグストア	150,634	75.1	155,854	74.9	103.5	299,435	74.8	30,6792	75.0	102.5
調剤	28,078	14.0	31,120	15.0	110.8	58,710	14.7	61,698	15.1	105.1
卸売・介護	21,862	10.9	21,026	10.1	96.2	42,412	10.6	40,510	9.9	95.5
売上総利益	53,223	26.5	57,000	27.4	107.1	108,311	27.0	113,500	27.8	104.8
販売管理費	47,517	23.7	50,500	24.3	106.3	95,396	23.8	100,000	24.4	104.8
営業利益	5,705	2.8	6,500	3.1	113.9	12,915	3.2	13,500	3.3	104.5
経常利益	6,843	3.4	8,000	3.8	116.9	15,233	3.8	16,000	3.9	105.0
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,961	2.0	5,000	2.4	126.2	9,158	2.3	9,400	2.3	102.6

# 中期経営計画について

## 今後の方針

マツモトキヨシホールディングスとの資本業務提携

エイチ・ツー・オーリテイリングとの業務提携

ヘルスケアネットワークの構築

# 中期経営計画について

# 2015年11月に公表した 2020年3月期を最終年度とする中期経営計画

## 2020年3月期

売上高 4,200億円

経常利益(率) 220億円(5.2%)

## 2015年3月期

売上高 3,491億円

経常利益(率) 65億円(1.9%)

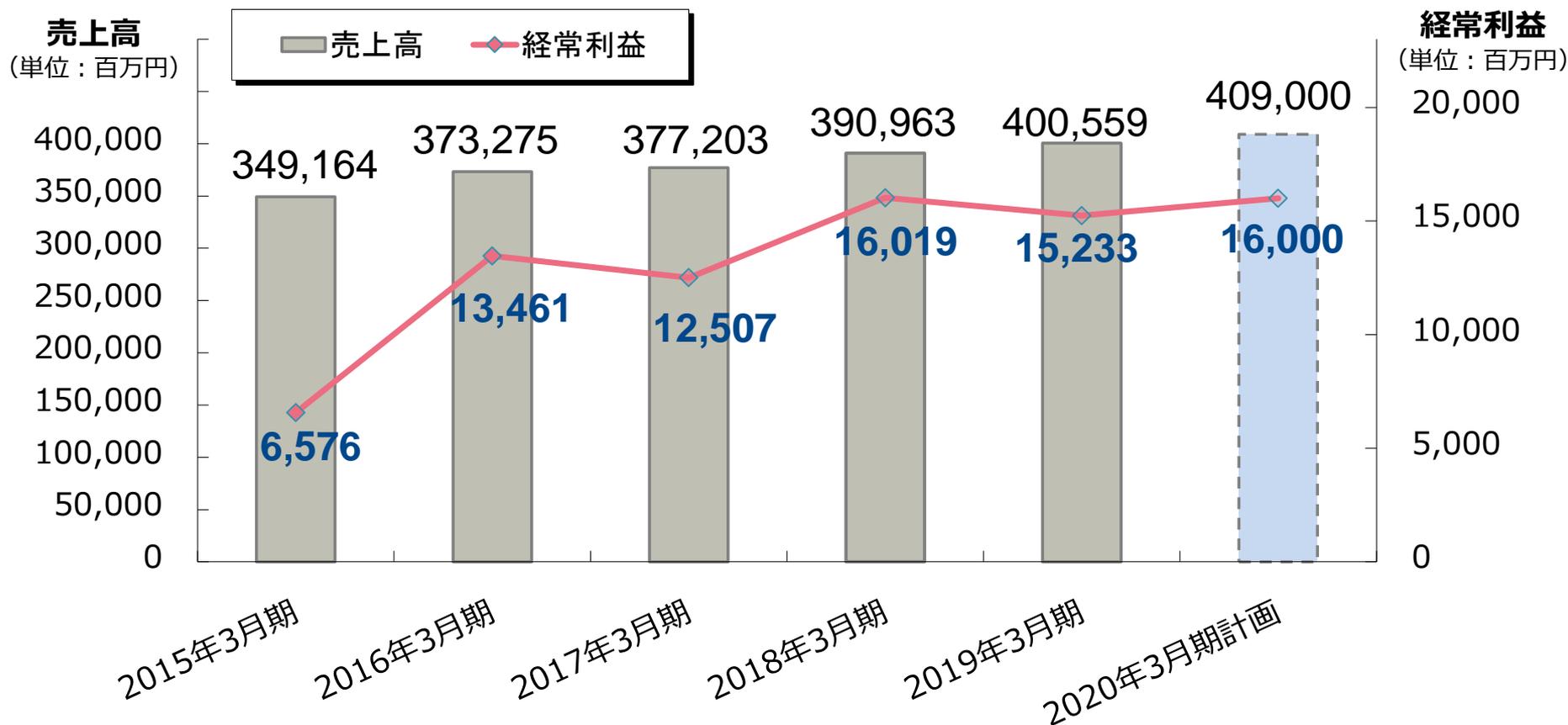
ROA(経常利益) 4.8%

ROE(当期利益) 2.2%

## 目標とする経営指標

ROA(経常利益) 10%以上

ROE(当期利益) 10%以上



	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
ROA	4.8%	9.7%	8.6%	10.5%	9.2%	—
ROE	2.2%	9.0%	8.7%	10.6%	10.0%	—
経常利益率	1.9%	3.6%	3.3%	4.1%	3.8%	3.9%

## 今後の方針

マツモトキヨシホールディングスとの資本業務提携

エイチ・ツー・オーリテイリングとの業務提携

ヘルスケアネットワークの構築

# 2019年4月26日公表 株式会社マツモトキヨシホールディングスとの 資本業務提携に関する検討及び協議開始のお知らせ

## 目的

互いのリソース、インフラ、ノウハウなどを活用した  
ドラッグストア・調剤事業におけるシナジー効果の追求

### 両社の事業の特徴

- ・ヘルス&ビューティに軸足
- ・調剤事業への取り組み
- ・都市部・都市周辺部の店舗網
- ・ICTを活用したCRM戦略

### 今後の検討・協議事項

- ・医薬品等商品の仕入に関する  
調達面及び物流面の共同化
- ・プライベートブランド商品の  
共同開発 など

2019年5月14日公表

# エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社との 合弁会社設立及び業務提携の基本合意に関するお知らせ

## 目的

エイチ・ツー・オーリテイリングと設立する合弁会社を  
通じたイズミヤ内での日用品等の販売 など

## 今後の検討・協議事項

- ・ 当社51%出資により設立予定の合弁会社（イズミヤから分割する非食品販売事業会社）を通じたイズミヤ内での日用品等の販売
- ・ イズミヤから分割する食品販売事業会社へのヘルス&ビューティケア関連商品群の商品供給
- ・ イズミヤから分割する食品販売事業会社から当社への食品の商品供給
- ・ 関西エリア共通ポイント「Sポイント」サービスの当社関西エリア店舗での導入

## 今後の方針

マツモトキヨシホールディングスとの資本業務提携

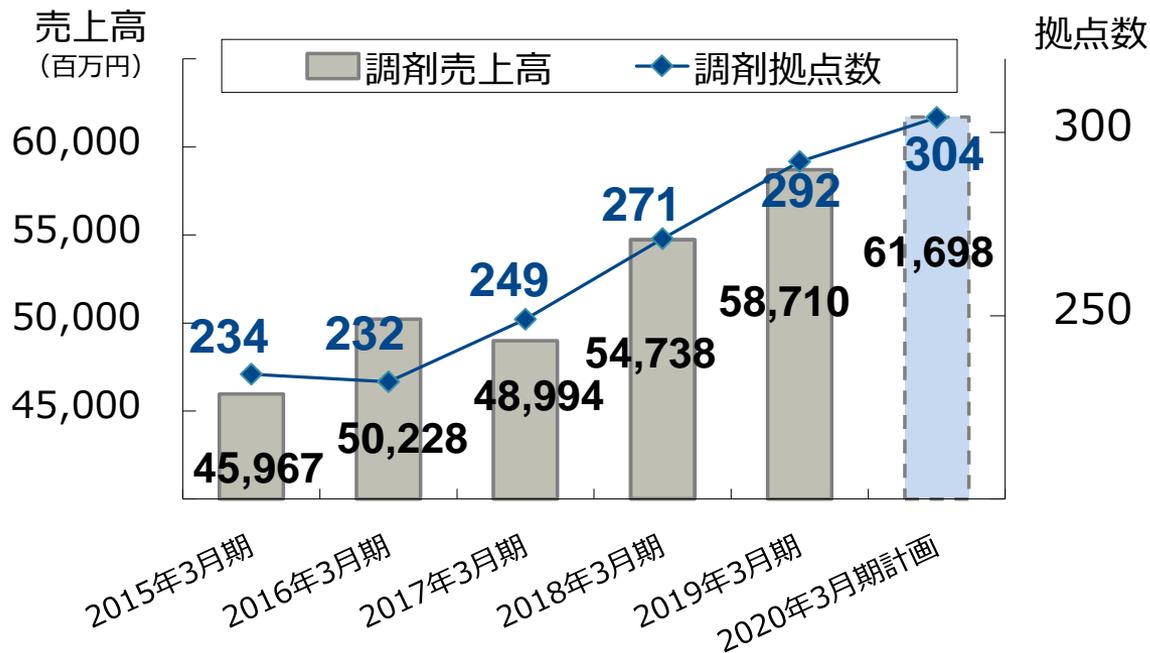
エイチ・ツー・オーリテイリングとの業務提携

ヘルスケアネットワークの構築

# 調剤事業の方向性

## ● 拠点数の拡充と地域密着型の健康サポート薬局づくりを推進

〔調剤売上高と調剤拠点数の推移〕



〔健康サポート薬局店舗数〕



## ● 専門性の高い敷地内薬局の出店

2019年3月末  
**2**店舗



2022年春 (予定)  
新安佐市民病院店  
(仮称) (広島)

## ようこそ ココカラファインモールへ!



# appendix

## 環境省主催の取り組み「Re-Style」のパートナー企業に！



塚本社長 と あきもと司環境副大臣



2019年3月13日、環境省による循環型社会のライフスタイル推進の取り組み「Re-Style」のパートナー企業となりました。  
限りある資源の大切さを広く伝えるための活動に、様々なかたちで協力していきます。



### 【パートナー宣言】

- Re-Styleのコンテンツ企画を積極的に発信します！
- 「3R推進月間」において、積極的な活動を実施します！
- 「選ぼう！3Rキャンペーン」に参加します！
- Re-Style商品を積極的に発信します！
- 自社事業において、3Rの理解と取り組みを促進します！
- 循環型社会の構築に向けた取り組みを支援します！

# 健康経営優良法人2019 「ホワイト500」 に認定されました



2019  
健康経営優良法人  
Health and productivity  
ホワイト500

ホワイト500とは・・・

国（経済産業省）が、「従業員の健康」を企業経営理念に取り入れている企業の中で、ある一定の基準を満たす優良企業を顕彰する認定制度

## 株式会社アクトス（バローホールディングスの子会社）が運営するスポーツクラブのフランチャイズ事業開始

店舗の遊休スペースや閉店跡地、出店候補地の隣接地などを活用し、「スポーツクラブアクトスWill\_G」のフランチャイズ経営をスタート



2019年8月2日 オープン予定

「スポーツクラブアクトスWill\_G 川口北」（埼玉県）※セイジョー川口北店跡地

「スポーツクラブアクトスWill\_G クスリ岩崎下関安岡」（山口県）

2019年9月1日 オープン予定

「スポーツクラブアクトスWill\_G ココカラファイン府相」（愛知県）



## お問い合わせ

株式会社 ココカラファイン  
コーポレートリレーション部

TEL: 045-548-5937

FAX: 045-470-3684

<https://corp.cocokarafine.co.jp/>

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。